

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公表番号】特表2014-525945(P2014-525945A)

【公表日】平成26年10月2日(2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2014-516321(P2014-516321)

【国際特許分類】

C 0 8 G	18/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
C 0 8 G	18/42	(2006.01)
C 0 8 G	18/48	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)
A 6 1 K	38/28	(2006.01)
A 6 1 K	38/27	(2006.01)
A 6 1 K	31/5575	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	5/10	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

C 0 8 G	18/00	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	9/10	
C 0 8 G	18/42	Z
C 0 8 G	18/48	Z
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 K	37/66	H
A 6 1 K	37/26	
A 6 1 K	37/36	
A 6 1 K	31/5575	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	5/10	
A 6 1 P	43/00	1 1 7
A 6 1 P	43/00	1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月18日(2015.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリマーがポリ(アルキレンオキシド)部分、カブロラクトン部分およびウレタン部分を含む構造単位由来のポリウレタンであるポリマー微粒子であって、0.01～100ミクロンの粒径を有し、1～3の範囲の分散性スパンを有する、ポリマー微粒子。

【請求項2】

活性物質をさらに含む、請求項1に記載の微粒子。

【請求項3】

活性物質がタンパク質またはペプチドである、請求項2に記載の微粒子。

【請求項4】

15～80ミクロンの粒径を有する、注射用の請求項1に記載の微粒子。

【請求項5】

1～3ミクロンの範囲の見かけの空気動力学径を有する、エアロゾルとして使用するための請求項1に記載の微粒子。

【請求項6】

0.02～2ミクロンの粒径を有する、眼内使用のための請求項1に記載の微粒子。

【請求項7】

動物の生理学的環境中で分解する、請求項1～6のいずれかに記載の微粒子。

【請求項8】

ポリマーが完全に分解されるのにかかる時間が、1日～250週程度である、請求項1～7のいずれかに記載の微粒子。

【請求項9】

リン酸緩衝食塩水中50で1ヶ月後にポリマーの平均分子量の減少が60～90%、特に70～85%である、請求項1から8のいずれかに記載の微粒子。

【請求項10】

リン酸緩衝食塩水中37で6ヶ月後にポリマーの平均分子量の減少が30～80%、特に40～70%である、請求項1から8のいずれかに記載の微粒子。

【請求項11】

リン酸緩衝食塩水中における37での膨潤性が、1～500%である、請求項1～10のいずれかに記載の微粒子。

【請求項12】

リン酸緩衝食塩水中における37での膨潤性が10～100%である、請求項1から11のいずれかに記載の微粒子。

【請求項13】

活性物質を放出するのにかかる全体時間が、時間、日、週、月または年の程度である、請求項1～12のいずれかに記載の微粒子。

【請求項14】

活性物質が名目上(nominal11y)30日、60日、90日または120日で放出される、請求項2から13のいずれかに記載の微粒子。

【請求項15】

分散性スパン(dispersivity span)が1.1～2.5、特に1.2～2.0の範囲にある、請求項1から10のいずれかに記載の微粒子。

【請求項16】

ヒトまたは動物患者の体内で完全に吸収される、請求項1から15のいずれかに記載の微粒子。

【請求項 17】

ポリマーが

(a) カプロラクトンおよびポリ(アルキレンオキシド)部分の共重合単位を含むプレポリマーと;

(b) カプロラクトンおよびC₂~C₆ジオールの共重合単位を含むポリカプロラクトンジオールと;

(c) デイソシアネートと

を共に反応させることにより得ることができる、請求項1から16のいずれかに記載の微粒子。

【請求項 18】

ポリ(アルキレンオキシド)部分が、ポリ(C₂-アルキレンオキシド)若しくはポリ(C₃-アルキレンオキシド)またはその混合物から選択される、請求項17に記載の微粒子。

【請求項 19】

C₂-C₆ジオールが、エチレングリコールまたはジエチレングリコールから選択される、請求項17または18に記載の微粒子。

【請求項 20】

活性物質を患者に送達するための組成物であって、請求項1~19のいずれかに記載の微粒子を含む組成物。